ハートがかよう健康福祉都市

等修復整備を行うことで往時の姿を蘇らせ、地域の歴史に対する市民の認識を高めてまいります。また、市指定史跡「当山の石畳道」及び「中頭方西海道」の国指定史跡に向けた取り組みを推進してまいります。

当山の石畳道

市民交流のまちづくり

本年度は、蒲郡市との友好都市提携三十周年です。記念事業を実施し、市民とともに両市の絆を深めてまいります。

二十周年を迎える浦添市国際交流協会や、沖縄国際センターと連携の下、多様な交流事業を進めてまいります。

本年十月の「第五回世界のウチナーンチュ大会」の開催にあわせ、浦添出身関係者の皆様をお迎えして「ウラシーンチュ歓迎会」を実施し、親睦交流の機会を設けてまいります。またその際に、南米移住者子弟研修修了生を招聘し、改めて親善交流の懸け橋としての役割を深めていただきます。

地域コミュニティの核とも言える、自治会活動の活性化のために、「浦添市自治会活性化協議会」と連携して、各自治会活動を広く市民に紹介するなど、魅力ある地域づくりに取り組んでまいります。

ともに支えあう福祉のまちづくり

子どもからお年寄りまで、障がいのある人も、誰もが住み慣れたこの浦添の地で、互いに支え合いながら、安心して健やかに日常生活を送ることができるまちづくりに、取り組んでまいります。

妊婦の安全な分娩と健康な子どもの出産及び経済的負担の軽減を図るため、妊婦一般健康診査の公費負担を本年度も十四回まで実施してまいります。

一人ひとりの自己実現が可能となる福祉社会づくり

認可外保育施設二箇所を認可・開所し、加えて法人保育所の定員増を伴う増改築も行い、待機児童解消に努めてまいります。

また、放課後の子どもの安全や、健やかな活動場所の確保を目的とする「放課後児童健全育成事業」では、当山小学校敷地内へ二つの学童クラブ室を整備するなど、活動の充実に向けた支援に取り組んでまいります。

障がい者福祉につきましては「地域生活支援事業」など、各種障がい福祉サービスの充実に努めてまいります。また「難病患者等支援事業」「居住サポート事業」も引き続き実施してまいります。

本年度は、これまでの諸施策の進捗等を点検した上で「第三次てだこ障がい者プラン」の策定に取り組んでまいります。

高齢者福祉につきましても、「第三次てだこ高齢者プラン」を策定し、高齢社会に対応したサービスの対応と、保健福祉サービスの目標値を定め、計画の具体化を推進してまいります。今後も一人暮らし高齢者や、認知症高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、在宅福祉サービスの充実を図ってまいります。併せて、地域において高齢者が尊厳のある生活を維持し、安心して生活できるように、地域包括支援センターを中心に中学校区保健福祉センターと連携し、地域包括ケア体制の構築を進めてまいります。

災害時に自力での避難ができない、または不安を抱える方々に対し迅速かつ安全に避難誘導を行うため策定された「浦添市災害時要援護者避難支援計画」に基づき、地域の支援意識の向上と支援体制の充実に引き続き取り組んでまいります。

ともにいきいき生涯健康づくり

本年度より「総合健診事業」をスタートさせてまいります。これは血管に関する疾患の予防に重点を置いた新たな検診体制を導入するもので、特定健診とがん検診の同時受診を可能とし、受診率向上が図れること、加えて特定健診後の重症化リスクの高い受診者に対し、二次検診の受診勧奨を一体的に行うなど、正しい健康意識の普及・啓発の推進に資するものです。これまで実施してまいりました「人間ドック助成事業」及び「脳ドック助成事業」は、この「総合健診事業」へ移行となります。

一定の年齢の女性を対象に、乳がん及び子宮がん検診の無料クーポン等を配布する「女性特有のがん検診推進事業」につきましても、引き続き全額を助成してまいります。

オオバナアリアケカズラ
（市民の花）

安らぎにみちた快適環境都市

災害に強い安全なまちづくり

複雑多様化する都市災害や高齢化社会に対処するため、「地域防災計画」に基づき市民、関連機関、及び行政が連携した防災体制の強化が今後一層必要となってまいります。

本市の牧港から西洲にかけての西海岸一帯は、津波浸水予想区域であり、津波からの一時的避難施設としまして、市内五団体と協定締結の下、「津波避難ビル」を指定しました。今後は、当該ビルの所在等の周知に努め、災害に備えてまいります。

災害へ迅速に対応していくため、広報車の購入など消防装備の充実を図り、各種災害の情報を早急に市民へ提供することによる被害の軽減に努めてまいります。

本年度より義務化される住宅用防災警報器の設置につきましても引き続き普及促進を図り、火災による被害を軽減するよう取り組んでまいります。

快適で美しいまちづくり

本市は景観法に基づく景観行政団体として、「てだこ市民によるウラオソイ風景づくり」を基本理念に、良好な都市景観の形成に取り組んでまいります。とりわけ、城壁等の復元整備が進む浦添城跡周辺につきましては、「まちづくり交付金事業」を活用し、街並み形成やまちづくり活動への助成とともに、宿道である尚寧王の道の石畳舗装や仲間重点地区内の市道舗装の高質化など、歴史・文化の薫るまちづくりに地域とともに取り組んでまいります。

また、「風景づくり推進事業」を活用し、沖縄都市モノレールの延長に伴う県道浦添西原線の道路計画変更に併せて、道路沿道地区や茶山地区を景観地区の指定に向け取り組んでまいります。

更に、本市西海岸における都市機能用地地区を中心とした空寿崎を含む西海岸全体の海浜景観につきましても、臨港道路浦添線及び沖縄西海岸道路浦添北道路の進捗に併せて、景観地区の指定など景観形成への取り組みを推進してまいります。

港川地区におけるカーミージー周辺等の整備につきましては、「まちづくり事業」を活用し、「基本計画」の策定に向け取り組んでまいります。

環境と共生するまちづくり

資源、エネルギー大消費型の経済社会を見直し、市民のライフスタイルや事業活動を環境に負荷の少ないものにしていくなど、環境にやさしいまちづくりの取り組みを推進するため、「浦添市環境基本計画」の策定に着手いたします。

計画の実現に向けて

ひらかれた市政運営に寄与するため、本年度も「広報うらそえ」やホームページ、ラジオFM21などにて行政情報の提供、及び共有を図ってまいります。また行政懇談会の開催により、本市の各種事業について市民への説明の機会を設け、市民・企業・行政の協働によるまちづくりへの環境整備を推進してまいります。

本市においては、これまで「浦添市行財政集中改革プラン」に基づいて、全庁的に様々な行財政改革を推進し、大きな成果を挙げてまいりました。今後においても、本改革は不断に取り組む課題であり、些かも改革の手綱を緩めることはできません。

そのため、これまでの「プラン」を検証し、更なる効率的な行政運営に資すよう、「浦添市行財政集中改革プラン継続取組分」を策定いたしました。本プランを踏まえた行財政改革に取り組み、より一層市民サービスの向上に努めてまいります。

厳しい財政環境のもと、限られた財源で最大の効果が得られるよう選択と集中の視点に立ち、本年度の予算を編成いたしました。

その結果、平成二十三年度予算は、一般会計において三百五十億七千万円、特別会計において二百三十五億八十四万一千円、企業会計において三十一億七千十二万八千円、合計六百十七億四千九十六万九千円の予算規模となっております。

問い合わせ
企画課
☎876―1234
（内線2511）

※平成23年度施政方針の全文をご覧になりたい方は、浦添市ホームページをご参照ください。